

さむかわ 自治会だより



自治会長連絡協議会
ホームページはこちら

今年4月より「自治会長連絡協議会ホームページ」を開設しました。PC、スマートフォン（上記の二次元コード）からご覧ください。

寒川町自治会長連絡協議会 会長 齋藤 正信

見える・見せる自治会 協働で取り組む自治会活動

日頃より自治会活動に対するご支援を賜り、誠にありがとうございます。本年4月の総会において、昨年に引き続き寒川町自治会長連絡協議会会長を仰せつかりました齋藤正信です。よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症は相変わらず収束の目途が立たない中で、海外では大変な争いが起きております。これらの情勢により諸物資調達や物価の上昇等、経済状況をはじめとした生活環境は厳しい状況下であり、そのような背景と合わせて少子高齢化社会等、自治会活動は多岐にわたる課題の対応が求められております。

昨年度は従来から継続した取り組みと「見える・見せる」自治会を作る事に注力してまいりました。その具体策の一つとして自治会長連絡協議会のホームページ制作に着手し、本年4月15日より開設することができました。

本ホームページにより寒川町22の自治会紹介をはじめ、情報の共有や諸課題に対応しやすい環境整備を図る事が出来ます。今後も内容を見直しながら、自治会員へのより良いサービスに繋げていきたいと考えています。

地域のまちづくりは、地域住民が主体であり、生活環境や防災への取り組みも住民同士の協力「共助」によって支えられています。引き続き自治会員の皆様のご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

また、自治会未加入の方々も協働の町づくりへの参加は責務ともいえます。ご理解を頂くとともに自治会にご加入頂き、共に協働のまちづくりにご協力を賜れば幸いです。結びとなりますが、今年度も皆様のご理解・ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

目次は2ページ目にあります。

自治会の活動報告

寒川町の各自治会では、より住みやすい地域にするため、お祭りやサロンなど住民同士の交流を深めるためのふれあい行事、日頃の生活に欠かすことのできないごみ集積所の清掃や管理、誰もが安心して住めるよう防災訓練や防犯活動を行っています。自治会だよりでは町内全22自治会それぞれが、地域の特色を活かして実施している様々な活動の一部を紹介します。

宮山南部自治会

令和3年度活動報告

令和3年度も、2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、自治会の催事は中止または規模を縮小して行うこととなりました。

まちぐるみ美化運動のほか、11月には「広域避難所開設訓練」に会長が参加、12月には「防災備蓄品の棚卸」を役員で行い、併せて非常用発電機の取り扱い確認及び稼働テストを行いました。

防災備蓄品として、避難所での感染症対策等に向けたワンタッチパーテーション、プライベートテント等を購入しました。

役員が毎年入れ替わる当自治会の体制に適応できるよう、前年に改善した備蓄品リストの取り扱いを継続し、備蓄品購入や予算作成に役立ちました。

災害発生時には、自治会による備蓄品の活用を当然行いますが、あくまで一時的な対応となりますので、各ご家庭においても実情に応じた準備をしていただく

ことも大切です。

今後も、自治会活動継続のため会員皆様のご協力をお願いいたします。



中瀬自治会

2年目を迎えた コロナ禍の自治会活動

令和3年度の自治会活動は、昨年同様に活動を自粛せざるを得ない状況でした。毎月定例の班長会においては、回覧文書の手渡しのみで、会議を開くことができませんでしたが、班長の協力で何とか活動を進めていくことができました。

自治会の行事は、夏祭りの「夕涼み会」は中止しましたが、正月の「どんど焼き」は豚汁の提供を取り止

目次

◆ 会長あいさつ	1
◆ 自治会の活動報告	
宮山南部自治会	2
中瀬自治会	2
新橋アパート自治会	3
大曲自治会	3
新町自治会	4
菅谷台自治会	4
小動自治会	4
越の山住宅自治会	5
岡田もくせいハイツ自治会	5
小谷自治会	5
一之宮西自治会	6
田端自治会	6
一之宮東自治会	6
岡田東・西自治会	7
宮山自治会	7
大蔵自治会	8
一之宮北自治会	8
一之宮ソフィア自治会	8
倉見自治会	9
泉宮寒川もくせいハイツ	9
第二自治会	9
◆ 自治会に加入しましょう	10
◆ 自治会マップ	10

※事情により今年度は筒井自治会の活動紹介を掲載しておりません。

新橋アパート自治会

団地内緑化活動

めるなど、規模を縮小して実施しました。婦人会に団子作りをお願いし、1月9日(日)に参加者60名ほど(子どもと大人)が集まり、団子を焼く体験を楽しんでいました。

また、60歳以上を対象に活動している「いきいきサロン」では感染が少し落ち着いたら時期があったので、久しぶりに活動を実施しました。11月25日(木)に寒川神社の神嶽山神苑へ中瀬集会所からウォーキングを開催し、22名の参加で神聖な領域の神苑内を散策。抹茶とお菓子をいただき、紅葉に癒された活動ができました。

令和4年度は、コロナに打ち勝ち、普段の生活・活動が行えることを願い、会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



緑に囲まれた当自治会では、毎月団地内や公園およびその周辺の除草などをする緑化活動に取り組んでおり、冬期を除いて毎月70人以上の方々の協力をいただいで実施しています。

自治会活動としては、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため6回以上の定例会の中止、防災訓練やシルバーサークル等の中止もあり、なかなか思うような活動が出来なかつた一年間でした。1日も早く地域行事の開催、地域コミュニティの輪が広がる日が来ることを望みたいところです。

こういった状況下ではありましたが、冒頭にご紹介した緑化活動の一環で、当自治会区域内の藤棚に今年も藤の花が開花しました。長年、藤棚の手入れをされていた方が引退され、引き続きご協力をいただける方々の取り組みによるもので、季節を感じられ、毎地域域の皆さんの目を楽しませてくれます。



大曲自治会

地域のつながりの大切さ

大曲地区はJR及び神奈中バスの利便性が良いことやスーパーや、食事ができる場所が近隣に多くあることから、最近でも分譲住宅開発が頻繁に行われ居住者が増加傾向にあります。

しかし、自治会に入会する人々がそれほど増加しているかと言えれば必ずしもそうではありません。また少数ではありますが脱会する人がいることも事実です。彼等の多くの言い分は、自治会に入らなくてもゴミの処理はできるし、組長になれば会費徴収などをはじめめとしていろいろな煩わし

い役割を果たさなければならぬ、また、入らなくても何の不便もないとの理由によるものです。

果たしてそうでしょうか？自治会の本来的役割は地域住民相互のコミュニケーションの、平時からの確立にあるのではないのでしょうか？幸いにして、私がここに住居を構えてからこの地区には大きな災害は発生していません。



写真①

私は大曲地区に移住する前には関西の芦屋に20年近く住んでいました。御存知のように関西地区には1995年に大きな地震が発生し、寒川より若千人口の多い芦屋地区でも1000人近くの死傷者があり、建物の大半は失われました。この時、一番困ったのはお風呂に入れなかつたことです。わざわざ大阪まで行かないとお風呂に入れませんでした。長い間、水も出ませんでした。これは単なる一例ですが、とにかく一度災害に見舞われると日常生活に様々な支障をきたします。



写真②

災害に見舞われた時に、すぐに助けになるのは隣近所の人々です。しかし、日常的に友好的な関係が構築されていない状態で、隣近所の人々と緊急時に相互の助け合いが可能でしょうか？

自治会のもっとも大事な役割は、災害時など、いざというときに近隣住民が迅速に相互の助け合いを行い、公的な機関の救助の到来までに応急的に安全な環境を確保することと考えます。

コロナ禍で十分な活動はできませんでしたが、今後に向けては、コロナに十分に配慮した形で大曲地区の自治会活動を行い、近隣住民の仲間意識の確立を図っていきます。

写真①は各家庭に配布した高輝度LEDペンライト

写真②は子ども会による大曲地域集会所への寒川の花であるすいせんの植栽活動

地域での災害への備え

令和3年度はまだコロナ禍の懸念が続いており、寒川町観光協会を中心とした他の自治会と協賛して開催しているお祭りなどの行事が中止となり、新町自治会としてできることを考え、写真(左)のような保険証や診察券なども入れて日頃より持ち歩きできる防災エマージェンシーボトルを全世帯に配布いたしました。



班長には、いざという時には日頃から防災用品を入れておけば避難時に着用品だけで持ち出せる防災エマージェンシーベストを配布しました。ウレタン素材で震災時には身を守り、水害時には浮き輪にもなるという機能に期待した品です。防災リュックを背負って避難する映像を見たことがないという発想で購入しました。また、防災倉庫や新町会館のなかに何が保管されているかを確認してリスト化する。使いたいときに会員の皆が「そうだ、自治会にあったな」と災害時や日常でも使えるように回覧で周知しました。

るかをリスト化する。使いたいときに会員の皆が「そうだ、自治会にあったな」と災害時や日常でも使えるように回覧で周知しました。



菅谷台自治会

ウィズコロナを 粛々と進めよう

令和3年度の菅谷台自治会の活動は、2年連続の新型コロナウイルス感染症拡大で、ご多分に漏れず計画していた予定行事の大半を中止せざるを得ませんでした。多人数で集まることが

制限される厳しい条件がある中で、本自治会は次の3点の取り組みを実施し、その成果を得ることができました。

① 自主防災活動のオレレンジ バンダナ作戦の試行

令和2年度末に自主防災活動の取り組みがまとまり、オレレンジバンダナを利用した訓練を2回実施しました。これは大地震の発生を想定したもので、発災直後の各世帯の安否確認を行う活動です。この訓練は、事前に回覧板で実施日時を予告しておき、当日に各班長がオレレンジバンダナを確認して回るとい形で行いました。

日常生活の中での設定で任意参加ということもあり、参加率は60%ほどでありましたが、生活実態に即して考えれば、まずまずの成果であると捉えています。

② カラス対策のゴミネット ボックスの設置

4年がかりの調査と検討の末、今年度の美化活動の機会を利用して、6月・11月の2回に分けてゴミネットボックスの設置を行いました。懸案であった管理システムもスムーズなスタートが切れ、設置後には長ら

く問題であったカラスによる生ゴミの散乱が解消されました。

③ なごみ会の実施

主に高齢者の交流を図るため、9月より4回の月例会を実施しました。写真のように参加者はマスク着用のため表情は分かりませんが、一人住まいのお年寄りの方々に大変喜んでいただけました。



小動自治会

避難訓練とスマホ教室

新型コロナウイルス感染症に配慮した避難所開設訓練が11月21日(日)に旭が

丘中学校で行われ、宮山自治会とともに参加しました。当日は、天候が心配されましたが、雨が降ることもなく滞りなく訓練を行うことが出来ました。新型コロナウイルス感染症の現在の状況から、災害時の避難所の開設において感染症対策に万全を期すことは極めて重要であると思われまます。まさに今回の訓練はこの点に配慮した訓練でした。発災時の避難所開設方法を確認するとともに、避難者の受け入れ、特に発熱者の誘導訓練、ペット同伴者の対応訓練などを実際に体験でき、大変有意義であったと思われまます。また、マイタイムラインの作成では、寒川町洪水ハザードマップを参考として、災害時には自宅がどの程度浸水する心配があるのかを知るとともに、避難する場所などを考える良い機会になったと思われまます。

11月29日に小動地域集会所において「かんたんスマホ教室」を開催しました。事前に参加者を募り、12名が参加しました。開催に当たっては新型コロナウイルス感染症の感染対策として、マスクを着用するとともに換気等に配慮して開催しま

越の山住宅自治会

災害に備える

した。2名の講師によりスマホに関する基本的な説明の後、実際に用意されたスマホを使って体験をしました。

まず、マップの機能では、拡大・縮小・移動の指使いを習い、マイク機能で「東京タワー」と「ベルサイユ宮殿」を検索しました。次に、カメラを使って写真の撮り方や、自撮りの仕方や動画の撮影も習いました。

最後に、二人一組となってLINEの仕方を習い、ビデオ通話で互いに話をしました。参加者は操作に四苦八苦しながらも、スマホを楽しんでいたように思えます。様々な機能を持つスマホに触ることができ、今後、スマホで楽しんでもらえるいい機会になったと思います。



令和3年度もコロナの影響は越の山住宅自治会の活動に大きな影を落としました。組長会議は前年に続いて2部制とし、恒例の夏祭りも中止とし、自治会館を使つての色々な活動についても制限せざるを得ない状況となりました。

このような中、防災訓練（防災倉庫の棚卸、安否確認訓練）を行なうとともに、7月3日に発生した小出川の出水に対し藤沢土木事務所による説明会を設け、更に今後の対応策の一つとして各自治会員に土嚢の必要性についてアンケートを取り、これに基づいて土嚢の作成・配布を行いました。また長らく途絶えていた越の山公園とあかね公園にある花壇の整備を自治会員の参加を募り開始しました。今後もし引き続きご参加頂いた方々を中心にして定期的に整備していく予定です。この企画は昨年度から始めました「自治会員同士で気軽に楽しい活動を通じて知り合いの輪を広げましょ

う。」の活動の一環として行ったもので今年度も新たな企画を設けて自治会員の皆さまの特技などを通じて自治会員同士が知り合える機会を提供できればと考えています。



岡田もくせいハイツ自治会

地域美化のとりくみ

11月7日（日）にまちぐるみ美化運動を実施しました。多くの方々にご参加頂き樹木の切り落としや植込みの剪定その他ゴミ拾いや除草作業を行いました。皆様のご協力ありがとうございました。

その後、一部の棟の会員

の方々がゴミ置き場で雑談していただきました。話を伺ったところ、ゴミ置き場を水道の水で掃除をしたときに、排水路に木の葉が貯まり排水路の水が流れにくいという事で、排水路の蓋にネットを装着しました。「こうすれば排水路内に木の葉やその他のつまりを防げるよ」という事を会員様同士で話しているのを聞いて、美化運動の時に世間話、各棟で困っていることを話しかけていいことは良いことだと思ひ自治会の組長会議の時に取り上げたいと思ひました。こういった事の積み重ねで、改善や団地内の住みやすさが保たれるのは良い事だと思います。

※ネット取付後の写真



小谷自治会

令和3年度の活動

令和3年度の小谷自治会の事業、活動のうち、小谷夏まつりは新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベントとしては中止としたが、そうなることと二年連続して未開催となることから、代わりに、webでの「夏まつりクイズ」を実施し、応募者全員に参加賞として、マスクと町の共通商品券をお届けした。

秋には、町内をめぐる健康・歴史散歩を実施した。観光ボランティアガイドによる寒川神社の案内や晩秋に咲き誇るひまわりの観賞の後、さむかわ中央公園に至り、お弁当をお渡しして昼すぎに流れ解散とした。

新年の「新春のつどい」についても、コロナの感染リスクを考慮し、お餅つきやお餅・芋煮の販売、会場



での飲食はとりやめ、子ども会と連携して小学生を対象としたコマ回し遊び、競技会のみを実施した。今年度はコロナ感染症の収束と相まって、これらの行事が安心して楽しく開催できることを願っている。

一之宮西自治会

令和3年度活動報告

令和3年度の自治会活動はご承知の通り新型コロナウイルス感染症に伴い、各種事業が開催できない状況の中で組織内の見直しなどを主体として取り組んでまいりました。

十数年前に作成したのぼり旗も老朽化し、新しい旗の製作にあたっては消防の広域化に伴い自治会名だけでなく「寒川町一之宮西自治会」として「寒川町」を加え、さらには吉田和正様のご協力を頂き絵画とデザイン等お願いし作成しました。

また、ホームページにおいても様々な要望や意見等から全面リニューアルを行い、情報発信の充実を図つ



てまいりました。

組織においても同様に令和3年まで12名だった役員体制を令和4年度から14名体制と増員し、より専門性の強化を図る体制づくりへと見直しなどを行ってまいりました。

この基本は自治会のあるべき姿として一之宮西自治会は「地代会」と想定し、地域の安心安全を図るため、また自主防災の強化発展を図るために防災専門部会の組織作りから今日まで継続した取り組みができております。

また、お互いに地域の仲間づくりを行うために、白梅ボーリング同好会・白梅ゴルフ同好会・白梅雀友会・白梅釣り同好会須崎会・白梅RAINBOWクラブなど地域交流も盛んに行われ、今後も趣味等を生かしたサークル活動支援に取り組み災害時等に協力し合う体制づくりに取り組んでいこうとしている一之宮西自治会です。

田端自治会

自治会活動あれこれ

新型コロナウイルス感染症の影響で田端自治会も行事を中止にしています。だからと言って何もしないわけではないのです。この機会に当自治会での懸案事項についてお伝えします。

Ⅰ. 田端自治会の会長選挙

当自治会の会長任期は2年です。このため、該当年の総会において、次年度の会長選挙が行われます。全ての自治会員の中から、総会に参加した方の投票により選挙しますが、立候補や推薦により決定・承認する場合もあり、直近の3代は承認で会長が選ばれています。今回は密を避けるため総会が開けず、初めて回覧による投票を試みました。得票した方の中から会長を引き受けてもらう予定です。自治会活動は地域の人の支えにより成り立っています。役員も同じ人に頼るのでなく、多くの方に少しずつ順番に担って頂きたいと思えます。

Ⅱ. 交差点改善要望

会員の方の声を受けて、地域の交通安全向上のため

今年度も複数の要望をとりまとめ警察署や町に相談し対応を検討しました。事業用トラックの関係については、警察から事業者への指導もあり事業所から改善に努める旨の話が後日ありました。交差点の隅切り（民地）に関しては、町と地主さんの間で調整をしてもらっています。町も地権者や事業所と調整する際に、やはり自治会として地域の要望であることが重要ということでしたので、今後もお住まいの方々にご意見を伺って取り組む必要があると考えます。

Ⅲ. ゴミ集積場の管理

地域には自治会内の町内会として設けたゴミ集積場と、アパートや貸家の持ち主が設けたゴミ集積場があります。町内会管理の集積場は、交代で掃除当番や資源物当番を務めたり、町内会のお金でカラス除けのネットや囲いの整備、場合によっては置き場の借地代を払ったりしています。こういうことから会員以外の方が負担もなく利用するのは公平ではないと思えます。特にルール違反の出し方をされると掃除当番に負担が増えます。町内会への加入

をお願いしたいです。掃除当番をされるなら町内会のゴミ集積場を利用することは可能かもしれません。ご近所の方に相談してみてください。



一之宮東自治会

令和3年度の取り組みについて

一之宮東自治会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、班長会議をはじめ、例年実施している各事業の開催中止を余儀なくされ、会員・役員をはじめ、多くの方々に様々な面でご心配をおかけしました。この間、班長会議は従来とは別の広い集会室を使用して3密回避を図るなどしました。

また、自主防災部会では、コロナ禍においても、災害

対策に関わる事業は実施するという観点から、様々な対応により会議をはじめ、防災訓練等を一部計画変更し実施しました。

その中でも、自主防災部員が自ら防災訓練の知識を学び、一般会員へ指導出来るよう自主研修として、一之宮東自治会で救急救命士・指導員の資格をもつ、照井さんを指導者として研修を行いました。参加者は約30名で、災害時の応急手当の仕方等を学びました。部員からは今後も続けて実施した方が我々にも役立つとの意見がありました。

一方、防災訓練は、コロナ禍で密にならないような訓練を、とのことで自治会員及び自治会班長さんに協力をいただき、10月24日に安否確認訓練を実施しました。自主防災部員が事前にチラシを全戸にポストイングし、各会員宅に黄色いタオルを掲げていただき会員の約75%の方々に協力いただきました。

今回は防災部員によるポステイングの効果があったようです。又自治会の班長さんも調査する時にタオル掲示が多い方がやりがいがあると聞き及んでいます。

防災部員と自治会の班長さんの信頼関係形成に重要な意味があるように思えます。今後、いざというときには、会員はじめ、一之宮東自治会では協力し合える地域づくりをさらに目指していきます。



岡田東・西自治会

2自治会合同 防災センター研修

沼津港大型展望水門に防災研修に行ってきました。同水門は、震度6弱相当以上の地震を感じた場合には、水門が自動的に降下し、津波の襲来に備えるようになっていた設備です。

扉体は幅40m、高さ9.3m、重量は40・6tあり、港の後背地50haと9千人を守る

るために作られた水門です。総事業費43億円をかけ、2004年9月より運用を開始し、両岸にエレベーター及び展望回廊を敷設し平常時には観光施設（360度の展望パノラマ）として活用しています。

回廊や連絡橋へ上がると施設内は非常に広く、頑丈な印象を受けました。建造目的は、防災水門・災害時の一時避難所、平常時の観光施設とのことで、観光営業を開始して一年目には13万人を超える来客があり、施設見学料金は大人100円と非常に安価ですが、眼下に駿河湾、千本松原、富士山、南アルプス等を360度眺望でき、素晴らしい眺めでした。開館時間は10時～20時で夜間はライトアップされるため、デートスポットとして観光協会で紹介されています。

岡自治会の区域である岡田地区を勘案すると、地震による相模川河口付近から引地川への津波逆流は考えにくく、地滑りや家屋倒壊・火災等の危険性の方が遙かに大きいと考えられます。故に、私たちの防災は設備だけではなく日頃の訓練、意識の定着が最も重要

だと思っています。今後も町内会活動や防災訓練等、意欲を持って積極的に参加し、防災に関する意識を高めていきたいと思っています。



宮山自治会

コロナ収束神事と 防災訓練

皆様こんにちは。日頃から宮山自治会の活動にご理解ご協力をいただき有難うございます。

令和3年はコロナ禍のため、従来のような自治会活動を行う事は困難でしたが、感染防止対策を徹底した上で、年度初めに承認された事業計画は概ね実施する事

が出来ました。

しかし、寒川神社のお膝元の自治会としては年参講・国府祭・浜降祭など、数々の祭礼が前年に引き続き中止となり、会員さんから祭事の継承が出来なくなるのではと心配する声も出る程でした。9月に入り新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着き、月末には緊急事態宣言やまん延防止措置が解除されたため、前年に中止であった宮山神社の祭りを10月の第一日曜日に実施しました。祭り催行については、地域の皆様と何度も議論を重ねた結果、3密回避を徹底し、感染防止に配慮することを第一に、コロナ収束神事として、神輿をトラックに載せて宮山全域の8か所を渡御し、神職にコロナ収束のお祓いをしていただきました。この祭りのテーマを「コロナに負けるな。ガンバロウ日本」と題し、コロナ収束祈願の特別な行事として行う事が出来ました。

また、11月には、小動自治会様と合同のコロナ感染拡大防止に配慮した避難所開設訓練を旭が丘中学校で行い、町の指導のもと、災害時の避難所運営について

大変有意義な訓練を受ける事ができ、日頃から防災知識を高める事の大事さを学ぶ事が出来ました。



防災の一環として羽釜による炊飯を行い、これでおにぎりを作る訓練をしました。近隣農家から提供された新米で、お焦げも大変美味な炊飯ができました。出上がったおにぎりは持ち帰りをお願いした結果、思わぬ反省点が見つかりました。冷めたおにぎりは堅い感があり、訓練でしたが避難高齢者を考慮すると多少水加減多めの柔らか炊飯がいいと考えます。同時に大蔵長寿会が子ども達と一緒にグラウンドゴルフを行い、普段では難しい

大蔵自治会 令和3年度「ふれあいスポーツ大会」開催

皆様こんにちは、大蔵自治会です。本年度も昨年引き続きイベント開催に制約を受けました。その中でも十分な感染対策と郊外の開催という事で何とか「ふれあいスポーツ大会」の実施に漕ぎ着けました。例年ですとバーベキューでの焼き肉、ヤキソバ、多少のアルコールで一日楽しむのですが本年は取り止めにしました。



年齢差のある地域交流を図りました。当日は天候に恵まれ非常に有意義な時間だったと考えております。

一之宮北自治会 『子どもから大人まで持続可能な活動』

一之宮北自治会の皆様、日頃より自治会活動、地域の治安、環境美化の維持等ご協力頂きまして有り難う御座います。

さて当自治会のこれまでの活動はコロナ禍により書面会議にせざるを得ない状況が数回有り本来の活動や円滑なコミュニケーションが図れませんでした。そんな中4月には衛生指導員にボンベガス抜き器具を配布、6月には北自治会だより、高座のころは北自治会「のころ」と題し発行しました。内容は組織体系の紹介や当自治会の歴史、年間計画等についての記事でした。

自主防災訓練は7月に役員と防災リーダーのみで駆動系備品の稼働点検の実施と成りました。9月に敬老祝いの品の授与、

12月にはスマホ教室開催のほか、高齢者サロン（フレンド）、子ども食堂（#ひろば）の2つについては毎月のイベントとして定着しつつあります。

いづれも民生委員の絆をはじめ、良き協力者のもと立ち上がり、子ども食堂については米の重要性「食育」を毎回実施しています。

食材等は無償提供者の方々から多数申し出をいただき地産地消で使用させていただいております。

また、タウンニュースを始め地域情報紙「みん」とこの記事として取り上げていただき反響をいただきました。

とかく孤食の状況にある子どもの為の場所と思われるがちですが、地域の子どもや高齢者の繋がりを大切にしたいとの想いで、一之宮公園集会所で地域の居場所交流拠点として賑わいを生み出す場所と成っています。

子ども食堂は令和3年11月13日オープンで毎月第2土曜日の11時より開催し毎回参加人数およそ100名弱の参加を頂いています。

高齢者サロンは令和元年11月24日より開始、第4火曜日10時から、毎回元気な

高齢者の方が集まりボイストレーニング、ストレッチ体操、脳トレ、リズム体操、盆踊り等イベントを毎回企画していますので皆様是非一度ご遠慮無く会場へお越し下さい。

今後とも更なる住み良い地域作りにご協力よろしくお願いたします。



一之宮ソフィア自治会

自治会活動について

コロナ新規感染者数が減少し、やっと落ち着くかと思われましたが、収束までまだまだ先は長いようで、気を引き締めて過ごす日が続きそうです。二年続いて

自治会総会が書面総会となり、自治会イベントも中止となりましたが、11月に「まちぐるみ美化運動」が開催でき、久しぶりに住民の皆さんと一緒に活動が出来る喜びを実感いたしました。

今年度も、自主防災活動の充実に取り組んでいます。当自治会は洪水発生時、最高3メートル程度冠水する予測となっています。防災倉庫は全て水に浸かり使用できなくなり、マシンシオン各棟二階の空きスペースに防災用品保管庫を購入し設置します。現在マシンシオンが大規模工事中の為、工事終了後には防災用品を分散保管する予定です。令和3年度も全住民対象の防災訓練は出来ませんでした。



したが、新任役員対象の防災別研修会は開催し、班で使用する防災用品や資機材等の確認点検を実施しました。今後、今できることから始めていく、住民の皆様のための自治会活動を続けていきたいと思えます。

倉見自治会

自治会主催ふれあいサロン「絆くらみ」

令和3年度も新型コロナウイルス感染症のため事業のほとんどは中止または規模縮小になりましたが、10月23日に敬老祝い、11月23日に七五三祝い、12月15日にふれあいサロンを主催しました。

ふれあいサロンは、通常の体操やイベント等は中止して全員集合はなく、来た順番に抽選を行うクリスマス抽選会を行いました。参加者は延べ42名でした。抽選番号による賞品に「喜一憂した後、パンジーの花、みかん、有志による手作りのアクリルたわしとストラップなどが参加賞として用意されていて、皆さん好みものを選んで満足げに帰

路についておられました。また、数名ずつのグループで撮影し後日配布した写真は、良い思い出づくりになったのではないかと思います。

ふれあいサロンは、自治会の運営改善の一環として、令和4年度からは新しい体制で開催することとなりますが、引き続き、皆さんに喜んでいただける催し物を企画していければと思っています。



県営寒川もくせいハイツ第一自治会

桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿

県内には、多くの県営団地・住宅がありますが、寒川町岡田地区の県営住宅は

580世帯の中規模の県営住宅です。

私達の自治会は、寒川もくせいハイツ16号棟、34号棟及び寒川テラスの40号棟、48号棟で合計では360世帯の規模になります。

住宅内にはミニ公園や広場の緑が多く、また、樹木は206本あり、草刈りや剪定等は有志による「もくせい緑化クラブ」により環境が維持されています。

そんな中、集会所広場の西通路側には14本の梅の木があります。毎年、2月には春風に香りを乗せて花が咲き誇り、6月には多くの実がなります。梅の実の収穫は、近隣の方の協力を得て木の周りをブルーシートで敷き詰めて、実のついて

いる枝をフックが付いた竿でゆすり、実を落下させます。落下した実は衝撃でつぶれたりもするので、選別した後1kg単位で袋詰めして格安にて販売しています。因みに収穫量は毎年バラつきはありますが、50kg、70kgで良品は60%前後です。

心待ちにしていた常連会員は、梅干しや梅酒、更には梅ジュース用にと購入していきます。私も、毎年梅

ジュースを作り孫たちにプレゼントして喜ばれています。収穫後の梅の木は「梅切らぬ馬鹿」にならないように初冬には、来年もよろしくと気持ちを込めて、新しく伸びている枝の剪定を行います。

また、桜の木はわずかですが棟の近くに8本あり、毎年沢山の花が咲きます。しかしながら木の成長が早く、枝がベランダにかかったり、陽の差し込みが悪く洗濯物の乾きが悪いか落ち葉の掃除が大変等の苦情が来ます。

対策として、定期的に「桜切る馬鹿」となり思い切って枝を落としています。居住区内は、ミニ公園や広場の芝生と多くの樹木の緑でとても癒されます。



自治会に加入しましょう

町内には22の自治会があります。自治会では、住民の生活に欠かせない活動（防災活動、避難行動要支援者支援、ごみ集積所の管理と清掃活動、防犯活動など）、住民同士の交流を深めるための活動（各種行事、高齢者ふれあいサロンなど）を実施しています。皆さんが住んでいる地域を住みやすくするために自治会に加入しましょう。

自治会への加入については、お住まいの自治会か寒川町役場町民協働課協働推進担当へお問い合わせください。

また、右の二次元コードからも電子申請で手続きができます。

自治会加入はこちら



自治会マップ



田端自治会	田端	岡田東自治会	岡田、岡田3～5丁目、岡田8丁目	小谷自治会	岡田、岡田5～7丁目、大蔵、小谷、小谷1～4丁目
一之宮東自治会	一之宮1丁目、一之宮8～9丁目、中瀬	岡田西自治会	岡田、岡田1～3丁目、岡田5～6丁目	小動自治会	小動
一之宮西自治会	一之宮、一之宮2～8丁目	新町自治会	一之宮1～2丁目、岡田、岡田1丁目、岡田3丁目、小谷、宮山	宮山自治会	岡田、小谷、宮山
一之宮北自治会	一之宮1～5丁目	越の山住宅自治会	岡田8丁目	新橋アパート自治会	宮山（新橋アパート内）
一之宮ソフィア自治会	一之宮7丁目（一之宮ソフィア茅ヶ崎内）	岡田もくせいハイツ自治会	岡田7丁目（寒川もくせいハイツ内）	宮山南部自治会	一之宮、宮山
中瀬自治会	一之宮1丁目、中瀬	県営寒川もくせいハイツ第二自治会	岡田7丁目（寒川もくせいハイツ内）	倉見自治会	倉見
筒井自治会	中瀬	菅谷台自治会	岡田7丁目		
大曲自治会	大曲	大蔵自治会	岡田、岡田7丁目、大蔵、小谷、小谷1丁目		

自治会に関するお問い合わせは、

寒川町町民協働課協働推進担当（74-1111 内線291・292）まで